



2023年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年9月14日

上場会社名 株式会社 Link-U 上場取引所 東
コード番号 4446 URL <https://www.link-u.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 裕樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 志村 優太 TEL 03 (6260) 9279
定時株主総会開催予定日 2023年10月26日 配当支払開始予定日 ー
有価証券報告書提出予定日 2023年10月26日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期の連結業績(2022年8月1日～2023年7月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期	3,129	37.5	434	268.7	397	359.1	204	503.5
2022年7月期	2,275	39.2	117	△47.8	86	△60.6	33	△78.5

(注) 包括利益 2023年7月期 205百万円 (439.3%) 2022年7月期 38百万円 (△75.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年7月期	14.44	14.35	9.4	11.4	13.9
2022年7月期	2.40	2.38	1.6	3.2	5.2

(参考) 持分法投資損益 2023年7月期 △41百万円 2022年7月期 △19百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年7月期	4,098	2,313	55.4	160.13
2022年7月期	2,860	2,130	71.9	145.58

(参考) 自己資本 2023年7月期 2,269百万円 2022年7月期 2,057百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年7月期	401	△193	557	1,756
2022年7月期	74	△104	△139	923

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2024年7月期の連結業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,289	5.1	342	△21.1	333	△16.0	186	△8.7	13.16

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年7月期	14,171,700株	2022年7月期	14,132,700株
2023年7月期	68株	2022年7月期	68株
2023年7月期	14,143,637株	2022年7月期	14,131,797株

（参考）個別業績の概要

1. 2023年7月期の個別業績（2022年8月1日～2023年7月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期	2,286	25.6	385	78.1	390	93.5	263	135.5
2022年7月期	1,820	24.8	216	△11.6	201	△19.1	111	△38.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期	18.62	18.50
2022年7月期	7.91	7.86

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年7月期	3,956	2,542	64.2	179.39
2022年7月期	2,855	2,277	79.8	161.18

（参考）自己資本 2023年7月期 2,542百万円 2022年7月期 2,277百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結の範囲又は持分法の適用範囲の変更)	11
(会計方針の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「世の中の課題を技術で解決する」という経営理念のもと、自社設計のオリジナルサーバーを基軸としたデータ配信と、そのデータを適切に蓄積・分析・処理するAIソリューションを併せてワンストップで提供するサーバープラットフォームビジネスを展開しております。その中で培ったサーバーインフラ技術、データ処理技術及びコンテンツ処理技術等を強みとして、事業規模を拡大してまいりました。

当社グループの事業領域である情報通信産業は、総務省発行の「令和5年版情報通信白書」によると、2021年時点で名目GDP52.7兆円となっており、全産業の9.7%を占めております。

当社グループが注力する電子書籍市場につきまして、2022年度の市場規模は6,026億円と推計され、2021年度の5,510億円から516億円(9.4%)増加しております。日本の電子出版市場は2022年度以降も拡大基調で、2027年度には8,000億円程度になると予測されております(インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告2023」)。

このような経営環境の中、当社グループは、リカーリングサービス及び初期開発・保守開発サービスにおいて、既存サービスの収益力拡大及び新規サービスのリリースに注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高3,129,985千円(前年同期比137.5%)、営業利益434,040千円(前年同期比368.7%)、経常利益397,273千円(前年同期比459.1%)、親会社株主に帰属する当期純利益204,263千円(前年同期比603.5%)となりました。

なお、当社グループはインターネットサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。サービス別の状況は、次のとおりであります。

(リカーリングサービス)

「リカーリングサービス」は、レベニューシェア収益及び月額固定収益(サブスクリプション)で構成されております。

当連結会計年度においては、株式会社集英社と共同運営しているマンガアプリ「ゼブラック」に集英社公式書店サービスが統合され好調に伸長し、また、自社プロダクトである地震予測AIサービス「ゆれしる」も販売チャネルの開拓により成長軌道に乗っております。

この結果、リカーリングサービスの売上高は2,775,411千円(前年同期比146.1%)となりました。

(初期開発・保守開発サービス)

「初期開発・保守開発サービス」は、リカーリングサービス案件獲得のための受託開発を提供するサービスです。取引先の新規サービス立ち上げ時、既存サーバーからの乗り換え時に、当社グループがその後のサービス保守運用も見据えたサーバープラットフォームやアプリケーション等をワンストップで提供します。

当連結会計年度においては、海外向けマンガアプリを含む複数のサービスを開発いたしました。

この結果、初期開発・保守開発サービスの売上高は354,574千円(前年同期比94.3%)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は4,098,898千円となり、前連結会計年度末と比較して1,238,474千円の増加となりました。

その主な要因は、現金及び預金の増加832,043千円によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は1,785,138千円となり、前連結会計年度末と比較して1,055,473千円の増加となりました。

その主な要因は、長期借入金の増加640,660千円によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は2,313,759千円となり、前連結会計年度末と比較して183,000千円の増加となりました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益計上に伴い利益剰余金が204,263千円増加したためであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、主に長期借入れによる収入580,000千円及び新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加65,357千円により、前連結会計年度末と比較して766,685千円増加し、1,756,004千円（前連結会計年度末923,961千円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動の結果獲得した資金は401,473千円（前年同期は74,055千円の獲得）となりました。その主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上325,574千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動の結果支出した資金は193,351千円（前年同期は104,560千円の支出）となりました。その主な要因は、投資有価証券の取得による支出154,790千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動の結果獲得した資金は557,805千円（前年同期は139,659千円の支出）となりました。その主な要因は、長期借入れによる収入580,000千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2023年7月期につきましては、中期経営計画の達成に向け重点強化領域である総合書店系マンガサービスの拡大及び自社プロダクトである地震予測AIサービス「ゆれしる」の販売促進、チャレンジ領域である海外マンガサービスへの投資拡大、持分法適用会社であるStudio Moon6を通じてのWebtoon作品の制作を進めました。

今後、5Gの商用サービスの開始により、あらゆるモノがインターネットを通じてつながるIoT時代、大容量データの配信が容易になる時代の到来が予想され、移動通信システムのトラフィック量は更に飛躍的に増加していくものと予測しております。そのような状況下において、当社グループの強みである大量のデータを高速かつ安価に捌けることの優位性も比例して高まっていくと考えております。

このような環境の中、中期経営計画の達成に向け、採用強化により人員体制の充実を図り、既存の収益領域の拡大に加え、マンガサービスにおいては、サブスク型マンガ・雑誌読み放題書店を運営する株式会社ビューンとのシナジーによる収益力の向上や海外へのコンテンツ配信スキームの確立など、積極的な投資を行い収益拡大を目指してまいります。

以上より、2024年7月期の連結業績予想といたしましては、売上高3,289,895千円、営業利益342,264千円、経常利益333,600千円、親会社株主に帰属する当期純利益186,555千円を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当連結会計年度 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	923,961	1,756,004
売掛金	453,879	599,206
契約資産	84,307	200,190
未収入金	191,423	272,754
貯蔵品	691	622
前払費用	88,847	130,199
その他	44,399	41,857
貸倒引当金	△4,529	△1,686
流動資産合計	1,782,981	2,999,149
固定資産		
有形固定資産		
建物	67,157	65,595
減価償却累計額	△10,924	△19,258
建物(純額)	56,233	46,336
建物附属設備	61,053	59,125
減価償却累計額	△9,816	△17,423
建物附属設備(純額)	51,236	41,702
工具、器具及び備品	228,408	226,482
減価償却累計額	△161,082	△177,903
工具、器具及び備品(純額)	67,325	48,578
有形固定資産合計	174,796	136,617
無形固定資産		
のれん	239,174	240,731
その他	51,885	39,335
無形固定資産合計	291,059	280,067
投資その他の資産		
投資有価証券	452,004	524,077
敷金及び保証金	111,635	107,387
繰延税金資産	36,207	46,254
その他	11,242	4,806
投資その他の資産合計	611,089	682,525
固定資産合計	1,076,945	1,099,210
繰延資産		
創立費	496	380
開業費	—	158
繰延資産合計	496	538
資産合計	2,860,423	4,098,898

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当連結会計年度 (2023年7月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	198,771	245,117
未払費用	371,257	561,625
未払法人税等	30,568	117,282
賞与引当金	7,610	—
受注損失引当金	—	4,666
1年内返済予定の長期借入金	—	44,040
その他	121,458	171,745
流動負債合計	729,665	1,144,478
固定負債		
長期借入金	—	640,660
固定負債合計	—	640,660
負債合計	729,665	1,785,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	476,567	477,054
資本剰余金	362,660	368,957
利益剰余金	1,196,515	1,400,779
自己株式	△135	△135
株主資本合計	2,035,607	2,246,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△22
為替換算調整勘定	21,860	22,660
その他の包括利益累計額合計	21,860	22,638
新株予約権	420	420
非支配株主持分	72,870	44,045
純資産合計	2,130,758	2,313,759
負債純資産合計	2,860,423	4,098,898

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
売上高	2,275,923	3,129,985
売上原価	905,238	1,392,930
売上総利益	1,370,684	1,737,054
販売費及び一般管理費		
役員報酬	62,020	63,049
給料	158,468	224,839
広告宣伝費	631,222	421,598
減価償却費	12,683	12,097
貸倒引当金繰入額	1,981	△1,805
のれん償却額	28,990	32,385
貸倒損失	588	1,514
賞与引当金繰入額	26,975	48,922
その他	330,036	500,412
販売費及び一般管理費合計	1,252,967	1,303,014
営業利益	117,717	434,040
営業外収益		
受取利息	60	137
業務受託料	518	600
還付金収入	503	565
助成金収入	—	17,173
その他	2,527	5,775
営業外収益合計	3,609	24,251
営業外費用		
支払利息	—	4,060
為替差損	728	1,069
持分法による投資損失	19,053	41,826
事務所移転費用	130	—
暗号資産評価損	14,758	13,788
その他	124	272
営業外費用合計	34,793	61,017
経常利益	86,533	397,273
特別利益		
補助金収入	—	5,960
特別利益合計	—	5,960
特別損失		
固定資産除却損	—	2,236
固定資産圧縮損	—	4,276
投資有価証券評価損	38,109	41,645
段階取得に係る差損	—	29,501
特別損失合計	38,109	77,659
税金等調整前当期純利益	48,424	325,574
法人税、住民税及び事業税	51,897	130,737
過年度法人税等	12,304	—
法人税等調整額	△32,051	△10,046
法人税等合計	32,150	120,691
当期純利益	16,273	204,883
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△17,574	619
親会社株主に帰属する当期純利益	33,848	204,263

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
当期純利益	16,273	204,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△22
為替換算調整勘定	21,860	800
その他の包括利益合計	21,860	777
包括利益	38,134	205,661
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	55,708	205,041
非支配株主に係る包括利益	△17,574	619

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	476,396	475,396	1,162,721	△135	2,114,379
当期変動額					
新株の発行	170	170			340
親会社株主に帰属する当期純利益			33,848		33,848
新規連結による減少高			△54		△54
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△112,906			△112,906
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	170	△112,736	33,793	—	△78,772
当期末残高	476,567	362,660	1,196,515	△135	2,035,607

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	—	—	420	69,356	2,184,156
当期変動額					
新株の発行					340
親会社株主に帰属する当期純利益					33,848
新規連結による減少高					△54
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					△112,906
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	21,860	21,860	—	3,514	25,374
当期変動額合計	21,860	21,860	—	3,514	△53,397
当期末残高	21,860	21,860	420	72,870	2,130,758

当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	476,567	362,660	1,196,515	△135	2,035,607
当期変動額					
新株の発行	487	487			975
親会社株主に帰属する当期純利益			204,263		204,263
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		5,809			5,809
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	487	6,296	204,263	—	211,048
当期末残高	477,054	368,957	1,400,779	△135	2,246,655

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	—	21,860	21,860	420	72,870	2,130,758
当期変動額						
新株の発行						975
親会社株主に帰属する当期純利益						204,263
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						5,809
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△22	800	777		△28,825	△28,047
当期変動額合計	△22	800	777	—	△28,825	183,000
当期末残高	△22	22,660	22,638	420	44,045	2,313,759

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	48,424	325,574
減価償却費	65,662	79,960
投資有価証券評価損益 (△は益)	38,109	41,645
のれん償却額	28,990	32,385
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,831	△2,842
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,610	△7,610
受取利息	△60	△137
持分法による投資損益 (△は益)	19,053	41,826
暗号資産評価損益 (△は益)	14,758	13,788
支払利息	—	4,060
売上債権の増減額 (△は増加)	△117,451	△239,705
棚卸資産の増減額 (△は増加)	18,911	69
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△5,962	6,442
前払費用の増減額 (△は増加)	△68,275	△41,352
未払金の増減額 (△は減少)	81,568	42,642
未払費用の増減額 (△は減少)	59,942	177,401
未払消費税等の増減額 (△は減少)	19,908	67,412
その他	△87,885	△60,814
小計	125,135	480,748
利息の受取額	59	8
利息の支払額	—	△4,103
法人税等の支払額	△51,138	△75,179
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,055	401,473
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△58,306	△154,790
投資有価証券の売却による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△30,283	△18,058
有形固定資産の売却による収入	—	96
無形固定資産の取得による支出	△19,422	△19,428
敷金及び保証金の差入による支出	△6,722	△2,020
敷金及び保証金の回収による収入	174	196
長期前払費用の取得による支出	—	△6
貸付金の回収による収入	—	660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,560	△193,351
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	580,000
長期借入金の返済による支出	—	△32,970
株式の発行による収入	340	10,775
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△140,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,659	557,805
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	757
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△170,164	766,685
現金及び現金同等物の期首残高	1,041,742	923,961
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	52,383	65,357
現金及び現金同等物の期末残高	923,961	1,756,004

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法の適用範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当連結会計年度より、持分法適用関連会社であった株式会社Brightech及び同社の100%子会社であるバリューコンサルティング株式会社は実質支配力基準に基づき子会社となったため連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当連結会計年度より、株式会社Studio Moon6をStudio Boom Co.,Ltdと共同出資にて設立し、持分法適用の範囲に含めております。

当連結会計年度より、株式会社Brightechは実質支配力基準に基づき子会社となったため、持分法の適用対象から除いております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、インターネット事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
1株当たり純資産額	145.58円	160.13円
1株当たり当期純利益金額	2.40円	14.44円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	2.38円	14.35円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当連結会計年度 (2023年7月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,130,758	2,313,759
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	73,290	44,465
(うち新株予約権(千円))	(420)	(420)
(うち非支配株主持分(千円))	(72,870)	(44,045)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,057,467	2,269,293
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	14,132,632	14,171,632

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	33,848	204,263
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	33,848	204,263
普通株式の期中平均株式数(株)	14,131,797	14,143,637
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	100,576	87,610
(うち新株予約権(株))	(100,576)	(87,610)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

(株式の取得による持分法適用関連会社化)

当社は2023年6月6日開催の取締役会において、既存株主から株式会社ビューン（以下、「ビューン」という。）の普通株式の一部を取得することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結しました。

また、2023年8月31日にビューンの株式を取得し持分法適用関連会社化しました。

(1) 目的

マンガや雑誌の読み放題サービスを提供するビューンと、多くの出版社とともにマンガサービスの運用に携わってきた当社が、それぞれ培ってきたノウハウを生かし、より良いサービスを提供していくため。

(2) 株式取得の相手の名前

ソフトバンク株式会社 その他2名

(3) 持分法適用関連会社化する会社の名称、事業規模、事業内容

名称 : 株式会社ビューン

所在地 : 東京都千代田区神田錦町二丁目2番地1

代表者 : 代表取締役社長 大石 隆行

事業規模 : 資本金 49百万円 (2023年3月末時点)

事業内容 : インターネットを利用したコンテンツ配信サービス等

(4) 株式取得の時期

2023年8月31日

(5) 取得する株式の数及び取得後の持分比率

取得する株式の数 : 8,624株

取得後の持分比率 : 49.0%